

2023年大会規定説明会 資料

平素より当協会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

6月17日開催の大会規定説明会にてご説明した内容資料を公開いたします。大会参加を予定されている皆様におかれましては、ご確認のほどお願いいたします。

記

①感染予防対策について

新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策につきまして、政府が5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げたことを受け、「チアリーディング練習再開に向けたガイドライン」および「新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針」を廃止いたしました。大会会場においては引き続き手洗い等の手指衛生、換気等の基本的な感染対策を行います。マスクの着用につきましては、個人の判断に委ねることを基本とします。大会出場時に体調チェックシートの提出はございません。
体調不良者においては、大会への参加を見合わせてください。

②予選大会 大会要項の詳細説明（*黄色部分は要項のページ数、該当部分を指す）

《P6_4. エントリー注意事項》

本年度より、演技人数が2名以下（Doubles部門は1名以下）でのエントリーは出来ません。万が一、エントリー後に人数減少により2名以下（Doubles部門は1名以下）となった場合、演技は可能ですが、入賞及び表彰、予選通過の対象外となりますのでご注意ください。

《P6_5. 予選大会の選択について》

活動拠点、または所属選手の半数以上が在住している地区の予選大会へのエントリーをしてください。万が一、申請に不備があった際はエントリー取消になる可能性があります。大会後に不備が発覚した場合にも入賞や予選通過の取り消しになる可能性がありますので、ご注意ください。エントリー期間内であれば変更が可能です。

《P12_13 一般社団法人日本スポーツチア&ダンス連盟（チアジャパン）主催大会への推薦について》

CHEER DANCE COMPETITION in Summerから「Doubles Pom部門」「Doubles Hip Hop部門」の出場権が、ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIPからは「Pom部門」「Hip Hop部門」「Jazz部門」の出場権が与えられます。該当部門の高得点順に相当数のチームを選出しますが、全ての部門編成において選出されるとは限りませんのでご了承ください。推薦についての詳細は、大会要項P13をご参照下さい。また大会に関する詳細は、主催であるチアジャパンに直接問い合わせをお願いします。

③ルールブックの詳細説明

本年度より、競技規定違反は**3点減点**、安全規定違反は**1点減点**に変更となりました。

《P3 部門定義》

【Pom部門／Double's Pom部門】

演技全体を通してPomの使用が認められない場合は3点の減点になります。安全規定に基づきダンスリフトやタンブリングの際にPomを置くことや、ダンス表現としてフロアに短時間Pomを置くことは可能ですが、Pomを使用しない表現が演技の大半を占める場合は減点と共にジャッジのスコアにも影響するのでご注意ください。

《P5 1 演技内容／スポーツマンシップ》

全てのチーム、参加者は、イベントを通してスポーツマンシップに則って行動すること。各チームのチーム責任者は、各選手、保護者およびその他の関係者がしかるべく行動するよう監督すること。違反の場合は失格となります。

《P6 4 演技時間／入退場》

演技時間の下限の設定がなくなり推奨時間になりました。推奨時間を下回ることによる減点はありません。Youth編成Cheer Dance部門は2分00秒以内に変更していますのでご注意ください。

《P6 5 人数》

出場選手（演技人数）が、事前に申請した人数を「超過した」場合は失格となります。補欠選手を追加して演技人数を増やすこともできません。怪我などの理由で、出場選手が申請人数よりも減少した場合の失格や減点はありません。演技人数の減少による編成の変更は出来ませんのでご了承ください。

《P6 6 衣装／ユニフォーム》

丈の短い衣装（ショートパンツやホットパンツなど）を着用の場合は性別や年齢に関係なく、下にタイツを着用することを推奨します。

《P6 7 手具／小道具》

衣装の一部の小道具とは着用していたジャケットやハットなどを指します。身に着けているもの以外の手具、小道具をフロア上に準備することは出来ません。Pom部門ではポンは衣装の一部としてみなされ、手具や小道具の使用は不可です。またポンとは、「手で操作できる球状または房状のもの。肌等を傷付けない安全な素材であること。」と定義します。

≪P7 8演技の中断≫

【1. 不測の事態によるトラブル】

不測の事態とは、主催者が準備した音響機材や施設の不備により演技が妨げられた場合、及び天災等の影響で大会自体の開催続行が難しい場合も含め、チーム起因ではないトラブルを指します。

【3. チームの責任によるトラブル】

演技開始の動作もしくは音の開始により演技時間の計測が始まります。万が一、演技が中断されても直ぐに演技を再開した場合、計測は止めずに継続されます。最終的な計測時間が規定の範囲内であれば減点はありません。また、演技開始時に音楽がかからなかった場合、即座に対応できた場合の減点はありません。明らかに進行が止まり、音楽の準備に時間を要すると主催者が判断した場合は、棄権もしくは減点（3点）が課せられた上で再演技の申請が可能です。演技の途中で音楽が止まっても選手が演技を続行した場合は、審査は継続されるか、主催者の判断で中断します。演技が中断した場合は、棄権もしくは減点（3点）が課せられた上で再演技の申請が可能です。チームの責任によるトラブルによる演技順の変更、及び再演技の申請は、出場編成部門の最後までをリミットとします。

≪P8～ 演技規定≫

【Mini・Youth編成における連続の定義】

2つのテクニカルスキル（タンブリングを含む）の間が一步または2カウント以内に行われることを意味します。ターンは体の正面が360度回転してターンが終了したとみなされるため、その後一步踏み出してからタンブリングに入る場合は実施可能です。ジャンプの着地は一步や2カウントに含めません。着地した後に一步踏み出してからタンブリングに入る場合は実施可能です。

【Pom部門Novice】

テクニクにおいて、ティルトトータッチ、ファイヤーバードは実施不可となります。ハーフターンは勢いを付ずに振り向いた方向で止まること。勢いがあり、連続で行うとシエネとみなされる可能性がありますのでご注意ください。安全規定④ペアやグループで行うリフトおよびパートナーリングについて、実施可能となりましたが必須ではありません。取り入れる際には安全面に充分にお気を付けてください。

【Pom部門Intermediate】 *安全規定の内容が改訂されました

テクニクにおいて、ターンの連続実施は合計で2回転まで可能です。（例：シエネ+ピケ）単体のターン2回転の後に他のテクニクを繋げることはできません。（例：ダブルピリエット+トータッチ、フェッテターン2回転+シングルピリエット）また、イタリアンフェッテは実施不可となります。

【Pom部門Advance】

テクニクにおいて制限はありませんが、フェッテシークエンスは8×2程度を2回までが望ましいとしています。また、Mini編成ではターンセカンド、ターンスイッチ、ターンティルトスイッチ、ターンセカンドスイッチの実施は推奨していません。

以上